

平成 26 年度 第 2 回 地区別計画推進研修会報告

【開催日時】平成 27 年 2 月 10 日（火）14 時 30 分～16 時 30 分

【参加者】107 名（地域の方 68 名、地区支援チーム・事務局 39 名）

【内容】講義Ⅰ 第 3 期瀬谷区地域福祉保健計画への期待

法政大学 名和田 是彦 教授

講義Ⅱ 地区別計画策定・推進にあたって（地区別計画策定指針）について

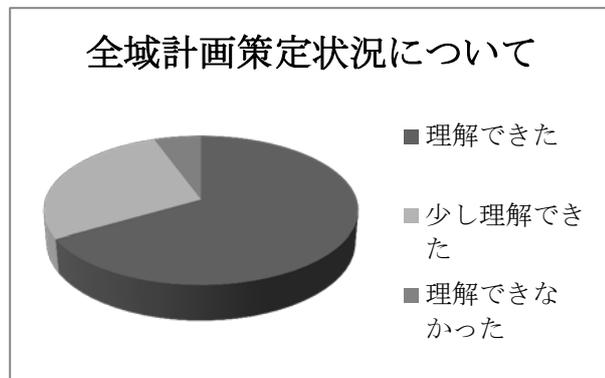
地域環境計画 田中 孝司 氏

質疑

【アンケート結果】 アンケート回収 54 名（参加者 68 名）

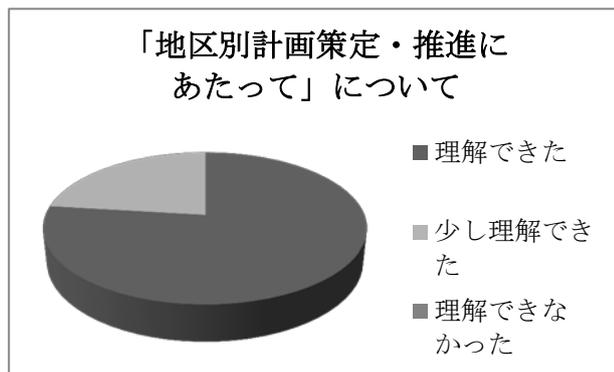
(1) (講義Ⅰ) 全域計画の策定状況のご理解について

理解できた	36 名
少し理解できた	15 名
理解できなかった	3 名



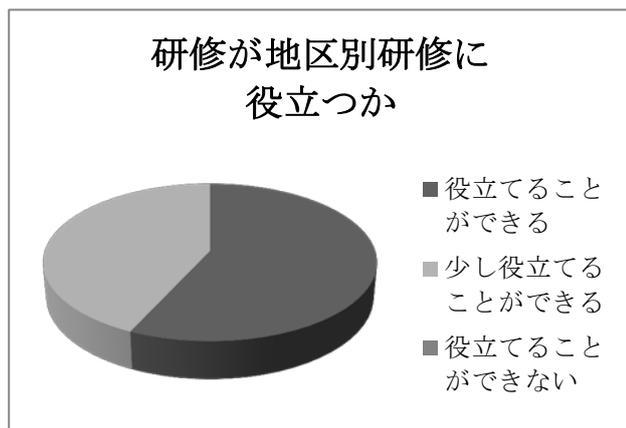
(2) (講義Ⅱ) 「地区別計画策定・推進にあたって（地区別計画策定指針）」のご理解について

理解できた	40 名
少し理解できた	12 名
理解できなかった	0 名



(3) 研修の内容は、地区別計画策定に役立てることが出来ますか？

役立てることができる	29 名
少し役立てることができる	22 名
役立てることが出来ない	0 名



(4) 研修の感想、現在の活動で感じていることなど（自由記載）

【講義の感想】

- ・ 地区別計画策定がとても身近なものに感じることが出来た。より良い暮らしのために、みんなの幸せのために、自分たちで考えるということがとてもよく分かり、頑張れそうな力をいただいた。
- ・ 「暖かい無関心」という言葉が印象に残った。
- ・ 田中先生のお話から、障害者について理解できた。障害者や認知症の見守り活動の計画策定に役立てていきたい。
- ・ 事例を挙げての説明は今後の取り組みに勇気が出る。足元を見た活動計画を推進したいと強く感じている。

【人材関係】

- ・ 高齢化が進み、若い人たちが少なくなり、また意識・価値観が多様化し、地域での活動・行事への参加も少ないので日常悩んでいた。今日若い人たちが活動・行事へ参加してもらった「ヒント」を得たので大変参考になった。
- ・ 「人材発掘に必要なこと」で、きっかけがあればという人がかなりいて、趣味からボランティアにというのは良い方向だと思う。
- ・ 支援できる人を自然体で活動に溶け込んでもらう工夫が必要だと感じた。
- ・ きっかけづくりが大切ということがわかった。(町内活動に入ってもらうために)

【「地区別計画策定・推進にあたって」について】

- ・ 今後の推進協の活動をスムーズ、積極的に進めていくのに、とても参考になる。
- ・ 地区別計画策定・推進にあたっての冊子はとても分かりやすいので、これをテキストに地区支援チームの協力を得ながら共通理解を図っていきたい。
- ・ 理解できたが、すぐに取り組むことはできるか心配

【今後について】

- ・ 地区別計画をなかなか作れないでいた。具体的なことが分からなかったが、身近な問題をPDCAサイクルを廻すことで出来ると思う。
- ・ 実際取り組むのは、自治会・社協・民生のみんなの力が必要と思われる。それぞれ理解していただくことが必要かと思う。
- ・ 地域に住んでいる人が幸せになれる地区別計画を策定していきたい。
- ・ 地域活動をしている中で、地域住民の多様性を考慮すると大変困難な問題が多い。地道に進めていくことが大事。
- ・ 暮らしやすさを求めるために組織があまりにも多様すぎて整理がつかない状況が現在の地域活動の実態。効果を得るためには集約が必要だが、いかにしたらよいか？
- ・ 地域の人が一人でも多く「人任せ」をやめて自分たちの地域のことを考えていけるように働きかけていきたい。